

潰瘍性大腸炎で生物学的製剤療法を受けられる

説明医師

外来看護師

病棟看護師

様へ

月日	月 日		月 日	
経過	入院日		退院日	
目標	○治療による副作用症状を理解できる ○副作用が最小限で治療を終了することができる ○感染予防の自己対策が理解でき実施できる ○日常生活上の注意点について理解できる			
検査	 採血・尿検査をおこないます 身長体重を測定します			
食事	朝食は自宅で			
処置・観察	リストバンドを装着します 点滴の針を留置します  体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します ※薬剤投与開始直後は、薬剤に対する過敏反応が出現する可能性があるために体温・脈拍・血圧測定や点滴挿入部の観察を適宜行います(15分後、30分後、60分後、90分後、120分後)		退院時にリストバンドを外します 副作用症状がなければ点滴の針を抜きます  朝、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します	
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 入院後も継続していただきます 薬剤投与 30 分前に服用する薬があります(看護師がお渡しします)  治療を開始します		 常用薬は継続していただきます	
行動	 制限はありません ※感染予防策(手洗い・マスクの着用)を行っていただきます  シャワー浴できます			
説明	 医師より説明 ・治療計画について  看護師より説明 ・入院生活について ・治療時の注意点について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		 医師より説明 ・退院後の療養計画、療養上の注意点について  看護師より説明 ・次回受診日について ・退院後の療養生活について	

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

02-K51-1.2.3.4.5

2022.2.28 版

京都第一赤十字病院